

## 船木校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成25年7月31日(水) 19時から20時30分  
開催場所 船木公民館 2階 会議室  
参加者数 男58人 女21人 合計79人



### 1 校区の課題

課題名 (自治会の現状と問題点)

検討内容 (要約)

○質問 (船木連合自治会：星加会長)

船木校区の自治会の現状について、パワーポイントを使って説明する。

人口7,453人、世帯数3,288世帯、自治会数20自治会、自治会加入世帯数1,914世帯(自治会費徴収世帯)、自治会加入率58.2%、高齢化率29.8%。

さらに、主な自治会の活動内容として、

- 1 広報活動 新居浜市の依頼事項他
- 2 環境美化活動 自治会内の清掃作業他
- 3 防犯活動 防犯灯維持管理他
- 4 防災活動 防災訓練他
- 5 イベントの開催 夏祭り他
- 6 福祉活動 特別会費徴収、高齢者の見守り(ふれあい協力員)

特に、2 環境美化活動として、船木連合自治会として、

- (1) ごみステーションの不法投棄ごみの回収作業(1回/月)

- (2) 不法投棄ごみの回収作業
  - (3) 市民一斉清掃の参加
- 単位自治会として、
- (1) 自治会内の草刈り、枝打ち
  - (2) 資源ごみの回収
  - (3) ごみステーションの管理

このような取り組みに対し、船木連合自治会が「環境大臣表彰」を平成25年6月12日に受賞した。

3 防犯活動 防犯灯の維持管理について、船木校区の各自治会の防犯灯数と支払い電気代（平成23年度）実績を一覧で表示し、例として、林之端団地自治会の防犯灯維持費について、維持費45,236円（電気代 35,236円+補修費 10,000円）（年間）、交付金25,137円で、自治会負担において20,099円の負担があることを説明し、このことについて非自治会員へアピールする必要がある。

次に、自治会の問題点については、

- 1 自治会役員が1年交代の自治会が多く、活動に慣れたところに交代し、人間関係が構築できない。（2年交代が4自治会、1年交代が14自治会、不定期が2自治会）
- 2 自治会員の高齢化に伴い、役員をできる自治会員が少なくなっている。
- 3 毎年、自治会員が減少し、自治会の運営が危ぶまれる。
- 4 自治会役員（特に、自治会長）の業務が日常生活にプラスされる。

そのような中で、自治会活動の活性化対策としては、

- 1 自治会活動を理解してもらう。（防犯（防犯灯の維持他）、防災（向う三軒両隣）、高齢者の見守り活動（社協との連携））
  - 2 自治会活動の活性化対策（夏祭り、防災訓練、ふれあい生き生きサロン、お茶の間懇談会）
  - 3 回覧板類の工夫（少しでも、自治会員さんに目を引くように工夫されている回覧板として、高祖自治会、林之端団地自治会、大久保自治会の回覧板を紹介）
  - 4 交際費、電話代などが増えることもあり、女性（配偶者）の協力を取り付ける必要
- その他として、自治会活動による健康管理や認知症防止効果があることをアピールしているが、ちょっと説得力が弱い気がする。

このような中で、2点質問ですが、今後も少子化は避けて通れない状況下において、世帯数が少ない自治会の維持をどうやって行くか、また、自治会役員の手当てについて市の考えをお聞かせいただきたい。新しく補助金を出してもらう事に越したことはないが、既に市から広報活動事業費、防犯活動推進事業費、地域コミュニティ創生事業交付金等が支給されているが、こうした補助金、交付金をプールして検討してみてはどうか。市の考えをお聞かせください。

○回答者（市長）

先ほども3つの再生の中で、地域コミュニティの再生ということ、今回、柱に掲げて行政運営を行っていくことを申し上げましたが、その地域コミュニティの再生といいますと、まずは、地域コミュニティを支えているのが自治会でございます。その自治会の加入率も非常に低下してきていることもあり、ぜひ、自治会の活性化を行いたいと考えております。星加会長がおっしゃられたことは、まさに、今私が取り組もうとしている問題と一致しておりまして、地域コミュニティの再生のワーキンググループを設置いたしまして、星加会長さんにもこのグループに入っていていただいておりますが、このグループの中で、ご議論いただき、検討をいただき、ご提言をいただくことにしております。

2点の質問についてですが、少子化が進み、自治会加入世帯数も減少してきますと、世帯数の少ない自治会は、会費収入も減少し、ますます自治会活動が厳しくなると考えられます。船木校区の単位自治会におきましても、大きい自治会は300世帯の所もあり、小さい自治会は20世帯前後の所もあります。自治会は、地縁による団体で、それぞれ歴史的な経緯・経過がありますことから、行政が一律に区画を設けるものではない、と考えております。そのようなことから、時間をかけて近隣の自治会が合併した事例や連合して組織強化を図っている事例などもあり、自主的にあるべき姿を議論して頂きたいと思っております。

また、財政支援につきましては、現在も、防犯活動や広報活動については、交付金として単位自治会に交付しておりますが、今年度は交付金の見直しもありますので、コミュニティの再生のワーキンググループの中でこの点についても議論いただき、自治会長さん達のご意見もお聞きして、今後検討して参りたいと思っております。

次に、自治会役員の手当てについてですが、各自治会の役員の皆様には、日頃から、無報酬で、本当に献身的にお世話をいただいておりますことに対しまして頭が下がる思いでございます。そんな中でございますので、できましたら私も役員さんに何らかの手当をと考えるところでございますが、まず、自治会は市の下部組織ではないため、市が基準を定めて役員に対して手当を出すということはないものと考えております。

また、実際に役員をされている方の中でも、手当が必要だと考える方、逆に、今はボランティアとして活動しているので自分のやれる範囲でできているが、手当をもらおうと負担になるため必要でないと言われる方もおられるため、自治会の中でも協議が必要だと思われれます。

例えばですが、役員個人に支払うのではなく、その活動への支援として、交付金の中で、事務費相当分を盛り込み、使い方については各自治会にお任せする方法や、手当ではなく、交通費や電話代等の実費弁償の形なども考えられますことから、この点についても、開催を予定しておりますコミュニティ再生のための具体的施策の立案に取り組むためのワーキンググループの中でも議論をし、連合自治会でも意見をまとめて頂き、この件も含め、交付金の見直しの中でコミュニティの再生、自治会加入の促進等につながるものかといった視点も踏まえ、ワーキンググループの議論に大いに期待しておりますことから、活発に議

論していただければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○回答者（船木連合自治会 星加会長）

実は、この校区課題を提出した後に、先ほどのコミュニティの再生のワーキンググループのメンバーに入ることが決まりました。厚い資料が7月23日に届きまして、事務局からの説明を受けたんですが、この中に、先ほどから言われている役員の手当ての問題、少子高齢化の自治会加入世帯数の問題など協議事項に入っておりますので、今市長が言われたワーキンググループ30名程度おりますが、その中で協議して、市長の方に提言するようになっておりますので、この質問内容はその中で進むと思いますのでご理解ください。

## 2 その他

○質問（元船木団地市営住宅自治会長兼管理人 戸田さん）

現在、市営住宅47室のうち空き家が13室で、自治会未加入が2世帯あり、実際には32世帯しか加入していない。加入者についても、生活保護、母子家庭等、いろいろな事情のある方がたくさんおり、自治会費も年間3,000円しか徴収していないので自治会運営も非常に苦しく、最近では退去者が多い。

いつ決まったか知らないが、退去時には畳の表替え、襖を変えるという条件があり、それを伝えたところ、退去される方から苦情を言われる。現在13室の空き家のうち6室は退去時の条件を履行していない。この退去時の条件について、建築住宅課に相談したが、決まりだからとしか返答がない。

退去時の条件を履行すれば、6～8万円の費用が掛かるので、次の入居予定がないのであれば、無駄な出費をしなくてもよいのではないかと。

○回答者（市長）

詳しくは分からないが、退去時の約束事になっているのではないかと思います。ただ、ご意見のとおり、使用予定のないところを直す必要もないように思います。しかし、退去される方の経済状態にもよるが、何もしなくてよいというのも規定上、困ることもあり、今ここでの返答は難しいので、対応について持ち帰って担当課と相談をさせていただきます。

### ※ 再検討事項

市営住宅退去時の畳の表替え等について

○質問（長野自治会 神野さん）

先ほど、星加会長の説明の中で、限界自治会という言葉聞き、萩のまちが大雨によって非常な災害に見舞われており、そのニュースの中で限界集落ということを知ったが、実は私の加入している自治会も限界集落に近い、自治会崩壊というような事実、現実に入

っている。少子高齢化により、子どもがいなくなっており、船木校区は農家がたくさんいるが、船木農協も統合によりなくなることが予定されている。私たちが生きている間に何とか元気な自治会づくりができたらと思っているので、支援をお願いしたい。

また、秋祭りが近づいており、既に準備に入っているが、かき夫が少なくなっている。自治会において相談するが、なかなか良い解決策が出てこないなので、支援、指導をお願いしたい。